

調査結果（未就学児のみ保護者対象）

十日町市第2次学区適正化方針に関するアンケート調査について（未就学児のみ保護者結果）

令和3年11月11日

第1 調査概要

（掲載省略）

第2 調査結果（再掲）

1 回収結果

(1) 対象世帯数（調査票配布数） 3,053件（母集団（N））

(2) 回収票数 1,326件（回収率：43.4%）

有効票数（集計対象） 1,315件（回収率43.1%）（標本全体を構成）

(3) 保護者の類型による内訳（N=3,053）

対象者区分	対象世帯数	有効票数	回収率(%)
A 未就学児のみの保護者	740	288	38.9
B 小学生以上の子がいる 保護者（A以外）	2,313	1,027	44.4

2 回答の集計数値の表し方等

「調査結果（全体）」のとおり

<注記>

当アンケートの記述部分については、できる限り回答者の原文を忠実に掲載した。ただし、明らかな誤字脱字の訂正、有効な補足の追加（括弧書き）、個人が特定される記述又は不穏当な表現のある記述の削除等の修正は、文意を損ねない範囲で行ったものである。

3 調査内容

問1 あなたのお子さんの就学状況をお答えください。(複数回答)
(n=288)

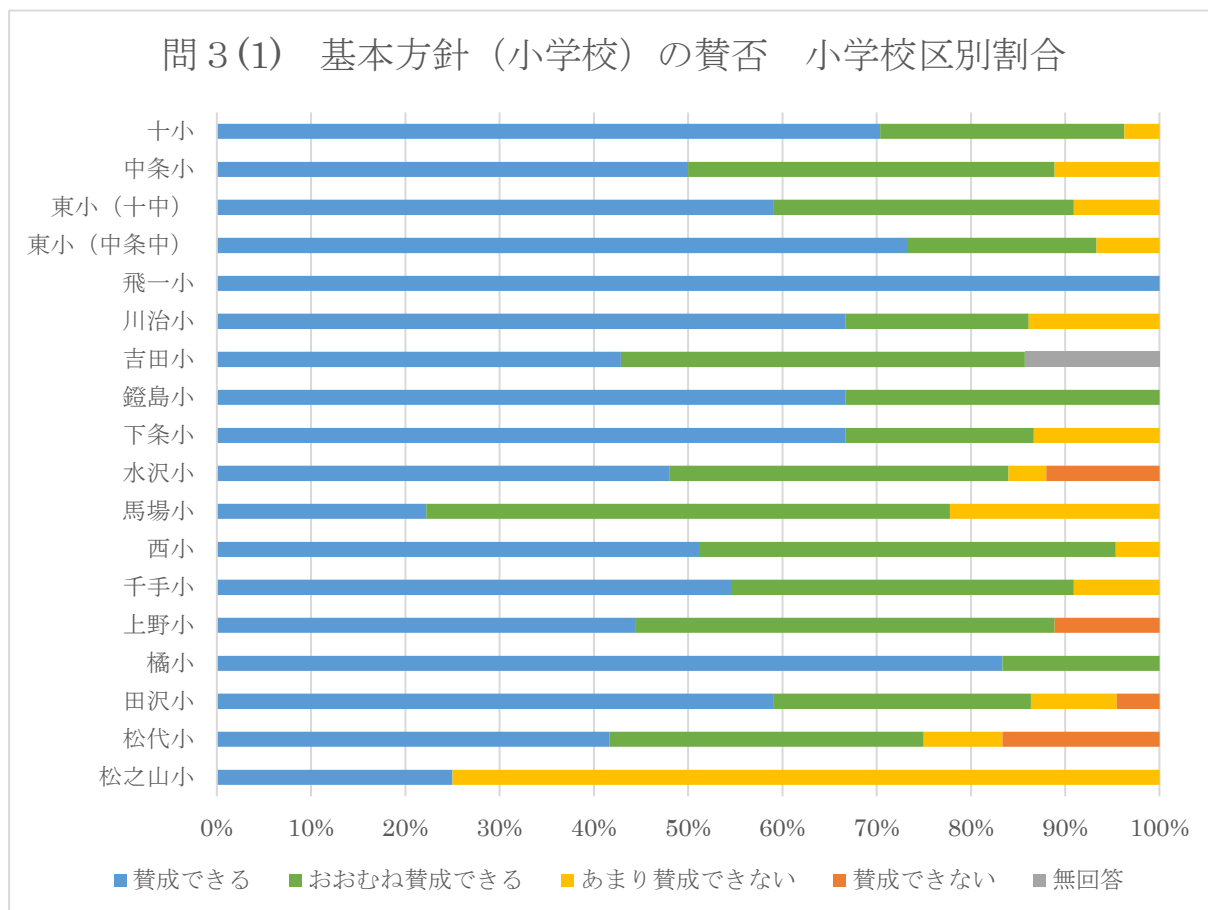
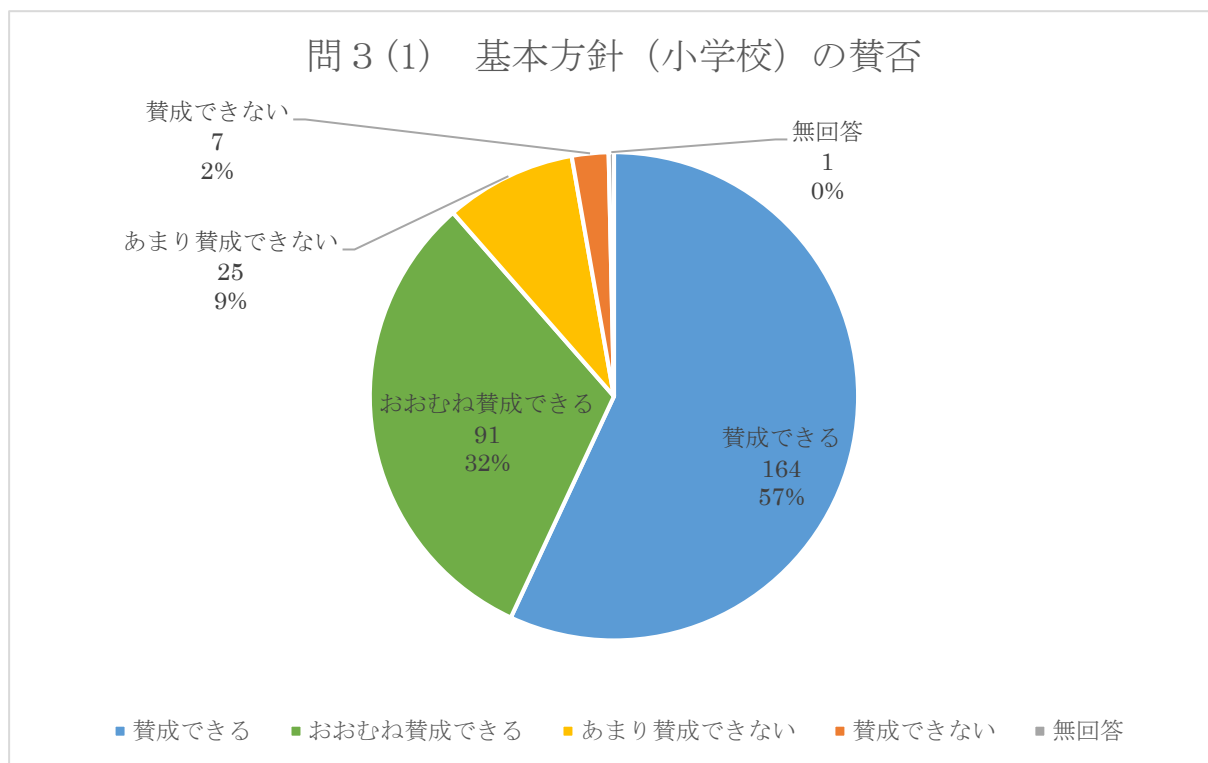
対象者区分	回答数	割合 (%)
1 小学校入学前 (未就学)	288	100.0
2 小学生 (1～3年生)	0	0.0
3 小学生 (4～6年生)	0	0.0
4 中学生	0	0.0
5 中学校卒業以上の子	0	0.0

問2 あなたの居住地区における小学校区をお答えください。(単一回答)
(※学区外就学をしている子がいる保護者も本来の学区を記入)
(n=288)

小学校区	配布数 (件)	回答数 (件)	回収率 (%)
十小	71	27	38.0
中条小	48	18	37.5
東小 (十中)	35	22	62.9
東小 (中条中)	51	15	29.4
飛一小	4	1	25.0
川治小	120	36	30.0
吉田小	15	7	46.7
鑑島小	18	6	33.3
下条小	34	15	44.1
水沢小	70	25	35.7
馬場小	13	9	69.2
西小	105	43	41.0
千手小	26	11	42.3
上野小	20	9	45.0
橘小	12	6	50.0
田沢小	67	22	32.8
松代小	23	12	52.2
松之山小	8	4	50.0
合計	740	288	38.9

問3 十日町市の学区再編（学校統合）の基本方針への賛否の状況（単一回答）

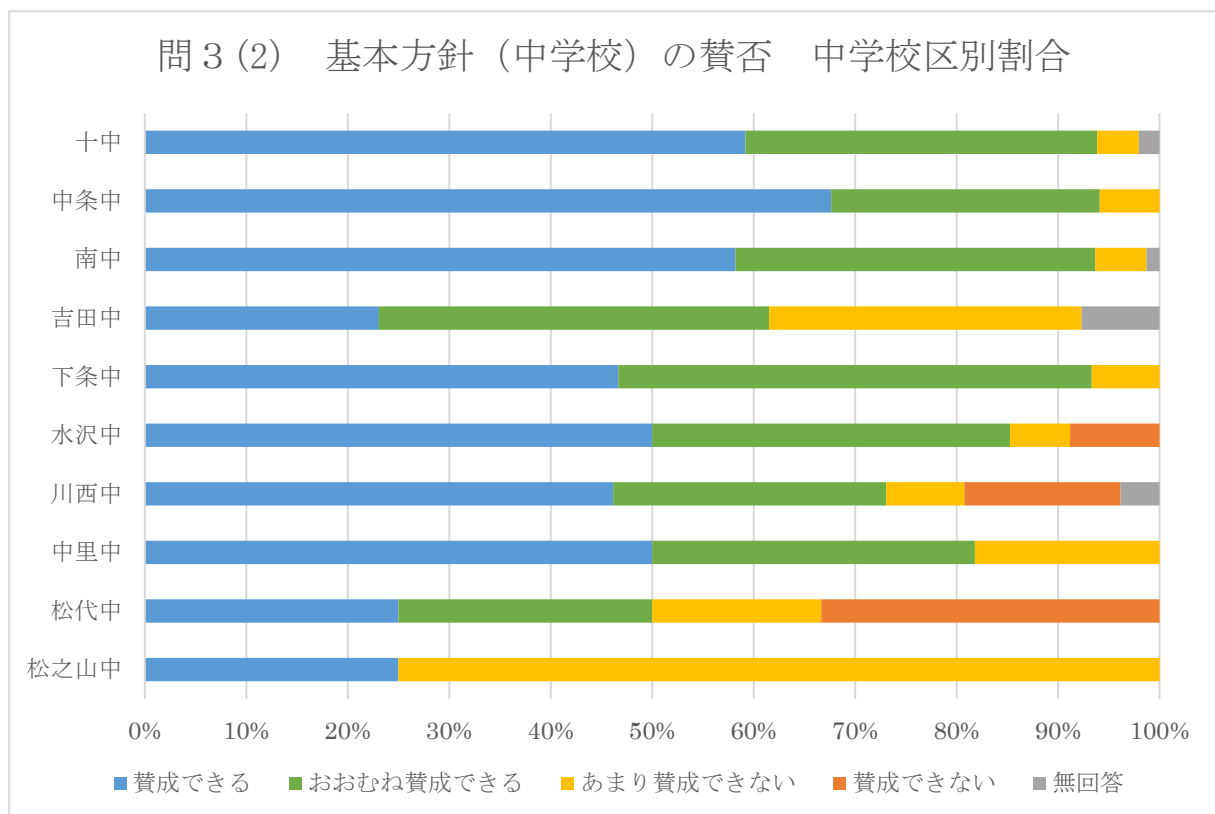
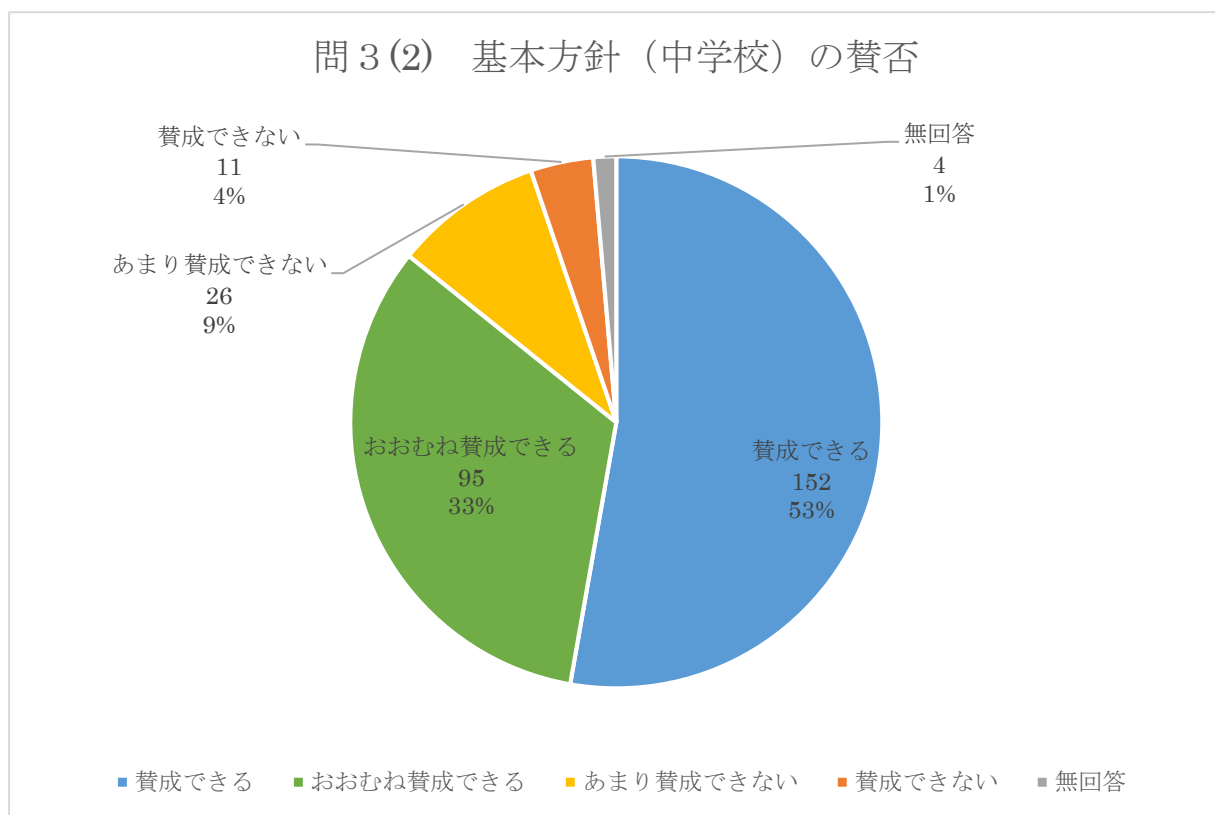
(1) **小学校**では1学年1学級以上であること。（複式学級が解消される学校規模）



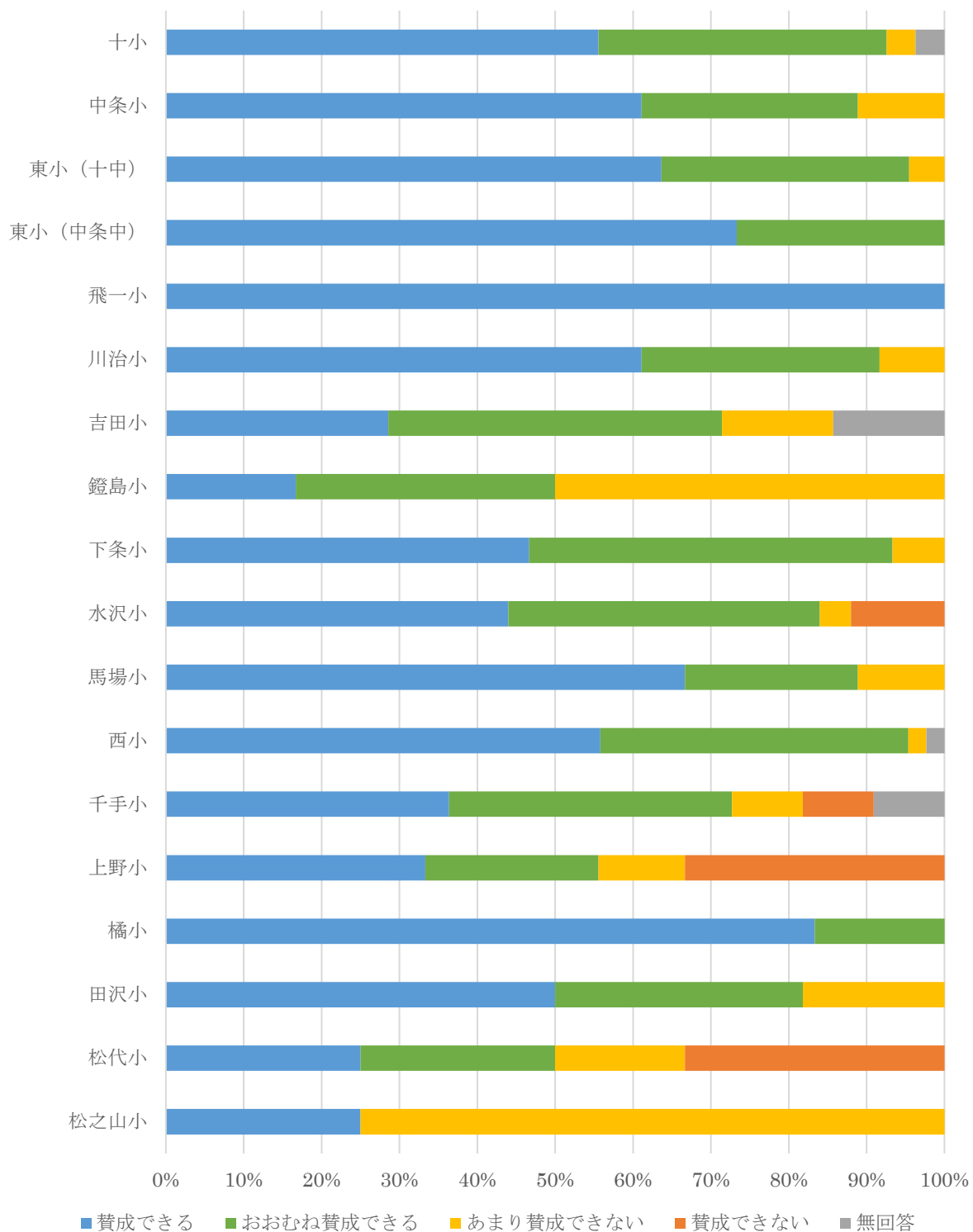
(単位：件)

区分	中学校区	賛成できる	おおむね賛成できる	あまり賛成できない	賛成できない	無回答
全体 (n=288)	—	164 56.9%	91 31.6%	25 8.7%	7 2.4%	1 0.3%
十小 (n=27)	十中	19 70.4%	7 25.9%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%
中条小 (n=18)	中条中	9 50.0%	7 38.9%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
東小 (十中) (n=22)	十中	13 59.1%	7 31.8%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
東小 (中条中) (n=15)	中条中	11 73.3%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%
飛一小 (n=1)	中条中	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
川治小 (n=36)	南中	24 66.7%	7 19.4%	5 13.9%	0 0.0%	0 0.0%
吉田小 (n=7)	吉田中	3 42.9%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
鎧島小 (n=6)	吉田中	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
下条小 (n=15)	下条中	10 66.7%	3 20.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%
水沢小 (n=25)	水沢中	12 48.0%	9 36.0%	1 4.0%	3 12.0%	0 0.0%
馬場小 (n=11)	水沢中	2 22.2%	5 55.6%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
西小 (n=43)	南中	22 51.2%	19 44.2%	2 4.7%	0 0.0%	0 0.0%
千手小 (n=11)	川西中	6 54.5%	4 36.4%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
上野小 (n=8)	川西中	4 44.4%	4 44.4%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
橘小 (n=6)	川西中	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
田沢小 (n=22)	中里中	13 59.1%	6 27.3%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%
松代小 (n=12)	松代中	5 41.7%	4 33.3%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%
松之山小 (n=4)	松之山中	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%

- (2) **中学校**では1学年2学級以上であること。(クラス替えが可能で、各教科担任が充足される学校規模)



問3(2) 基本方針（中学校）の賛否 小学校区別割合



(単位：件)

区分	中学校区	賛成できる	おおむね賛成できる	あまり賛成できない	賛成できない	無回答
全体 (n=288)	—	152 52.8%	95 33.0%	26 9.0%	11 3.8%	4 1.4%
十小 (n=27)	十中	15 55.6%	10 37.0%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%
中条小 (n=18)	中条中	11 61.1%	5 27.8%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
東小（十中） (n=22)	十中	14 63.6%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
東小（中条中） (n=15)	中条中	11 73.3%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
飛一小 (n=1)	中条中	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
川治小 (n=36)	南中	22 61.1%	11 30.6%	3 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
吉田小 (n=7)	吉田中	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%
鎧島小 (n=6)	吉田中	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
下条小 (n=15)	下条中	7 46.7%	7 46.7%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%
水沢小 (n=25)	水沢中	11 44.0%	10 40.0%	1 4.0%	3 12.0%	0 0.0%
馬場小 (n=11)	水沢中	6 66.7%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
西小 (n=43)	南中	24 55.8%	17 39.5%	1 2.3%	0 0.0%	1 2.3%
千手小 (n=11)	川西中	4 36.4%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%
上野小 (n=8)	川西中	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%
橘小 (n=6)	川西中	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
田沢小 (n=22)	中里中	11 50.0%	7 31.8%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
松代小 (n=12)	松代中	3 25.0%	3 25.0%	2 16.7%	4 33.3%	0 0.0%
松之山小 (n=4)	松之山中	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 4

- (1) 問 3 の「**(1) 小学校について**」の回答を「賛成できる」「おおむね賛成できる」とした場合、あなたがそう考える理由として近いもの（複数回答）

< A 表 > (n=254)

近い理由	回答	
	件数	割合 (%)
① 集団の中で切磋琢磨する経験をとおして、多様な考え方に触れることができ、社会性やたくましさ等が育まれるから	183	71.8
⑥ 運動会や文化祭などの学校行事や集団教育活動に活気が生じるから	123	48.2
⑦ 部活動やクラブ活動の種類が多くなり、選択できるようになるから	122	47.8
⑤ 体育の球技音楽の合唱・合奏、調理実習等の集団学習を経験できるから	111	43.5
④ 学校規模が大きくなり人数が多くなると、児童の習熟度学習やグループ学習など、多様な教育ができるようになるから	101	39.6
③ 複式学級が解消されると児童が直接教員と対面して学習できる場面が増え、教員と児童の負担が軽減するから	76	29.8
② 学校規模が大きくなると、教職員数が増え、よりきめ細かな学習をすることができるから	57	22.4
⑧ 保護者同士の交流や役割分担が進み、P T A等の活動が活性化するから	19	7.5
⑨ その他	15	5.9
無回答	1	0.4

- (2) 問 3 の「**(1) 小学校について**」の回答を「あまり賛成できない」「賛成できない」とした場合、あなたがそう考える理由として近いもの（複数回答）

< B 表 > (n=32)

近い理由	回答欄	
	件数	割合 (%)
⑥ 学校を統合した場合、学校までの距離が遠くなり、児童の登下校の負担や危険性が高まる不安があるから	24	75.0
② 学校規模が小さい方が、教員が児童一人一人の学習状況や学習内容等を的確に把握し、きめ細かな学習ができるから	23	71.9
④ 学校規模が小さい方が、児童が互いによく知り合え、子どもや教職員の一体感が深まりやすいから	18	56.3

①	学校規模が小さい方が、学年の上の子が下の子に教えるという場面が作りやすく、頼りにされるという経験を重ねることができるから	14	43.8
⑤	学校規模が小さい方が、児童の家庭状況や地域の教育環境が把握しやすいため、保護者や地域と連携した教育がしやすいから	14	43.8
③	学校規模が小さい方が、児童が意見や感想を発表できる機会が多くなるから	12	37.5
⑦	学校規模が大きくなると、児童の人間関係が希薄化し、いじめ等が発生する可能性が高まる心配があるから	10	31.3
⑨	その他（上記以外にあればこの欄にご記入ください）	6	18.8
⑧	小学校で1学年1学級では、まだ学校規模が小さいから（この場合、そう考える理由がありましたら、この欄にご記入ください）	1	3.1
	無回答	1	3.1

問5

- (1) 問3の「**(2) 中学校について**」の回答を「賛成できる」「おおむね賛成できる」とした場合、あなたがそう考える理由として近いもの（複数回答）

< C表 > (n=247)

近い理由	回答	
	件数	割合 (%)
① 集団の中で切磋琢磨する経験をとおして、社会性やたくましさ等が育まれるから	174	70.4
⑦ 部活動やクラブ活動の種類が多くなり、選択できるようになるから	151	61.1
② クラス替えがないと、生徒の人間関係が固定化され多様なものの見方、考え方を学ぶことが難しくなるから	133	53.8
⑥ 体育祭や文化祭などの学校行事や集団教育活動に活気が生じるから	128	51.8
⑤ 体育の球技、音楽の合唱・合奏、調理実習等のような集団学習を経験できるから	120	48.6
④ 学校規模が大きくなり人数が多くなると、生徒の習熟度学習やグループ学習など、多様な教育ができるようになるから	96	38.9
③ 学校規模が大きくなると、教職員数が増え、よりきめ細かな学習をすることができるから	65	26.3
⑧ 保護者同士の交流や役割分担が進み、P T A等の活動が活	16	6.5

性化するから		
⑨ その他（上記以外にあればこの欄にご記入ください）	13	5.3
無回答	3	1.2

(2) 問3の「**(2) 中学校について**」の回答を「あまり賛成できない」「賛成できない」とした場合、あなたがそう考える理由として近いもの（複数回答）
＜D表＞（n=37）

近い理由	回答	
	件数	割合 (%)
⑥ 学校を統合した場合、学校までの距離が遠くなり、生徒の登下校の負担や危険性が高まる不安があるから	32	86.5
② 学校規模が小さい方が、教員が生徒一人一人の学習状況や学習内容等を的確に把握し、きめ細かな学習ができるから	20	54.1
⑤ 学校規模が小さい方が、生徒の家庭状況や地域の教育環境が把握しやすいため、保護者や地域と連携した教育がしやすいから	20	54.1
⑦ 学校規模が大きくなると、生徒の人間関係が希薄化し、いじめ等が発生する可能性が高まる心配があるから	18	48.6
④ 学校規模が小さい方が、生徒が互いによく知り合え、子どもや教職員の一体感が深まりやすいから	15	40.5
③ 学校規模が小さい方が、生徒が意見や感想を発表できる機会が多くなるから	14	37.8
① 学校規模が小さい方が、学年の上の子が下の子に教えるという場面が作りやすく、頼りにされるという経験を重ねることができるから	13	35.1
⑨ その他（上記以外にあればこの欄にご記入ください）	9	24.3
無回答	1	2.7
⑧ この規模でも、まだ学校規模が小さいから（この場合、そう考える理由がありましたら、この欄にご記入ください）	0	0.0

問6 あなたの居住地区での小・中学校（問2で選択した学校区）の学区再編（学校統合）についてお尋ねします。

【小学校】

■全体（n=288）

(1)-1 あなたの居住地区の**小学校**について、学区再編が必要だと思いますか
(単一回答)

区分	回答数	割合(%)
1 必要	59	20.5
2 懸念事項が解決すれば必要	19	6.6
3 不要	207	71.9
無回答	3	1.0

(1)-2 前問で2を選択した場合、その懸念・心配事項をご記入ください

ひとクラス25人以下になるようなら
橘小学校への通学を希望します。(上野ではなく)
教育県、長野のように明確な教育ビジョンが示されていれば。ただの数の問題や、効率、表面的な「こどものため」の理由が多く、具体的な教育ビジョンなき再編に見える。
人数が少なくなる
再編した場合の子供へのメリット、デメリットがよく分からない。人口上というのは分かりますが
通学時間が長くなる
バス通学等が必要になる児童が出てくるのではないかと(学校が遠いため)
距離、送迎等の問題
再編によって一緒になった学区それぞれの地域の学びや行事を平等にやらないといけないと思う
学校までの距離が遠くなるので心配。スクールバスの運用が必要
生徒数が多い学校に統合するのではなく、学校周辺の環境や設備等が子供たちの学びにとって最適と思われる場所に統合すべきだと思います。
上野小と橘小の再編でなく、千手小も含めた3校での再編にしてほしい
小学校6年間、クラス替えがないと、友人関係の幅が広がることが少なくなり、コミュニケーション能力が不足しそう
中学校が十中と中条中に分かれるのが反対です。
松代小→南中ではなく、松代、吉田という様に近隣地域での編成をし、より地域に根ざした教育が地域からも、子への必要と考える。
冬期の通学手段(遠方からの児童ら)スクールバスなどがあるのか?
登校時の交通手段の安全性(特に冬季)
通学手段について(決まった登下校時間じゃない時は、スクールバスが出たとしても乗れないのではないかと心配です。)
中学へ通学する前に、小学校同士の交流を多くしてもらいたい

◆各小学校区

内容は別紙「調査結果(問6の小学校区別)」のとおり

【中学校】

■全体 (n=288)

(2)-1 あなたの居住地区の**中学校**について、学区再編が必要だと思いますか

(単一回答)

区分	回答数	割合(%)
1 必要	58	20.1
2 懸念事項が解決すれば必要	39	13.5
3 不要	186	64.6
無回答	5	1.7

(2)-2 前問で2を選択した場合、その懸念・心配事項をご記入ください

川西側で統合して頂きたい（吉田方面と）／川東側へは行きたくない。川東の方が川西へ来て頂きたい。
再編する、しない以外の選択肢はありませんか。小中一貫にする、学区外の子、市外県外の子でも自由に通える仕組みをつくる、フリーアドレス制にするなど。
中学校までの距離が遠くなるので、スクールバスや、自転車通学など、多様な通学方法が可能であること、またその安全性が確保できること。
スクールバスでの通学のイメージ（部活時とか、土日とかどうなの？）がうまくわかないのと遠くの子たちに申し訳ないな…というところ。
教員の確保
スクールバスの運行
再編後の通学先が計画通り水沢中学校となるのであれば。
再編した場合の子供へのメリット、デメリットがよく分からない。人口上というのは分かりますが
中条中、十日町中どちらでも自転車通学になる位置にすんでいる。冬場の登下校に不安を感じる
通学の時間、距離の問題
通学時間が長くなる（水沢中との場合）
(1) -2 (※)と同様、学校と自宅の距離が伸びるため通学方法の検討 (※：バス通学等が必要になる児童が出てくるのではないかと（学校が遠いため）)
距離、送迎等の問題
再編によって一緒になった学区それぞれの地域の学びや行事を平等にやらないといけないと思う
四日町から十日町中学校までは遠すぎるし、登下校が心配だ
通学距離
学校までの距離が遠くなるので心配。スクールバスの運用が必要
川西の教室棟は建て替えたばかりなので、川西の場所を使ってほしい
生徒数が多い学校に統合するのではなく、学校周辺の環境や設備等が子供たちの学びにとって最適と思われる場所に統合すべきと思います。
スクールバスの事故 地域の過疎化
吉田中学校の特色の一つであるスキーについて。期待している地域、保護者の方も多いのではと思う。南中学校でその特色を受け継ぐことができるのかどうか。
近い中学と小規模に統合なら、川を渡るのは変
学校同士が統合することで、さらに落ち着かなくなるのではと心配です。教員の増員、支援員の増員、警察の見回り、保護者による見回りなど。後は始業時間や、部活動の終わる時間は一番遠い生徒への配慮が必要だと思います。(朝練や延長の参加についても、できない生徒への配慮もいると思います。)
松代小→南中ではなく、松代、吉田という様に近隣地域での編成をし、より地域に根ざした教育が地域からも、子への必要と考える。
吉田と南中学校だと、学校の規模も地域性も違いがあり過ぎ、心配です。川西、松代の方が、なじみがあります。
登下校の安全（土・日の部活動も含め）。通学する中学校の場所。地域との関わりの確保。

土地代など今後お金のかからない方を選択してほしい
冬期の通学手段（遠方からの生徒ら）スクールバスなどがあるのか？
・通学時間が長くなることで親・子とも負担が大きすぎる。こと。（子どもが体調が悪い、事故があった、冬場の雪の問題。毎日一体何時に家を出なくてはいけないのか？）／・もともと通学に条件の不利なへき地であること。
いきなり南中に統合せずに、川西・吉田・松代で統合するなりすれば良いと思う。地元で中学がないと、ＵターンやＩターンを検討している人が、戻ってきても結局、街中に住所を移してしまう。
通学手段について（部活動や遅刻した時などにスクールバスが出たとしても乗れないのではないかと心配です。）
南中と水沢（中里）の方が今後の人数を考えると良い気がします。
学校が遠くなった場合、登下校のことが心配。人数が少ない小学校から来る子は、なじむのがむずかしいかもしれない。
部活動がはじまる中学校。部活に合わせた登下校で保護者の送り迎えの負担が増える。徒歩や自転車で通えなくなると
冬のバス
まつのやま学園が再編の中に入っていない
・通学中の事故・トラブル／・１人１人に目が届くのか／・いじめス／・思春期の生徒をかかえる教師の負担。／学校崩壊にならないか
スクールバスでの送迎が必要
月日が経つにつれ人口バランスに変化が出てきており、学区編成が必要だと思う。小学校よりも中学校の方が取り組みやすいのでは

◆各中学校区

内容は別紙「調査結果（問６の中学校区別）」のとおり

問７ あなたのお子さんの現在の学級人数などについてお尋ねします。（未就学児しかいない保護者は回答不要です。）
（該当なし）

問８ 学区再編（学校統合）の際に、あなたが特に重要だと思うことを次のＥ表の中から３つまで選んでお答えください。（複数回答：上位３件を選択するもの）
（n=288）

	内容	回答	
		件数	割合 (%)
⑤	遠距離通学となる場合は、スクールバス等の運行による安全安心な通学方法をしっかり確保すること	226	78.5
①	児童生徒が再編による環境変化に（新たな環境の適応変化による学力や学校生活に対する不安等）適応できるよう、児童生徒間の理解と交流を図ること	204	70.8
④	再編に当たって相互に学校や地域のことを学び、双方の特色や良さを活かした学校づくりを進めること	89	30.9
⑦	学校が統合された地区が衰退しないような取り組みを進めること	77	26.7
⑥	学校の施設や設備の充実を図ること	73	25.3
⑧	閉校した学校の利活用や跡地利用を考えること	45	15.6

③	再編後の学校活動に各地域の住民が参加しやすくなるよう、学校運営協議会の委員構成等に配慮しながらコミュニティ・スクール（※下欄に注記あり）の取組を充実させること	31	10.8
②	双方の学校・地域の保護者同士の親睦と理解を育むこと	28	9.7
⑨	その他	16	5.6
	無回答	14	4.9

問9 学区再編（学校統合）に当たって、対応が必要と考える課題や懸念がありましたら次の欄にご記入ください（記述）

スクールバスの子が、放課後1時間学校で待ちます。とかがないように。市営バスを使う場合の混雑具合等大丈夫か
地域差別がない様、十日町市全て同じとの意識づけ
子供が通いやすいのが良い
通学の交通手段
児童・生徒の環境の変化に対する対応が課題だと思います。
問8と同様（※） （※：旧十日町市側を中心とした考え方で学区再編しないで頂きたい。中条、下条が、川西側へ来ても良いかと思う。）
スクールバスを十日町のなるべく広い範囲まで送迎できる。
再編が多様な教育観（多くはかなり古い自身の経験、感覚）から語られることのあやうさ。
児童が授業についていけるような学習支援等
登下校の安全性
スクールバス、自転車通学、それらの安全性
遠距離通学の対処方法。
遠距離通学の負担の軽減、大人数が苦手な子どもの細やかなケア。
生徒の勉学やスポーツ能力によって対応してもらいたい。
支援級の必要性も増えると思うので、充実させてほしい。
スクールバスを何便出すか、部活の朝練時はどうするのか？
・スクールバスの拡充 / ・スクールカウンセラー等精神的支援
スクールバス等の充実、少人数地区から大人数地区に入った際の心のケア等
夫婦共働きのため、遠くの学校になると送迎が心配なので、統合するならスクールバスを充実させてほしい。
このアンケート自体が統合ありきの設問になっているのが残念
実際にかよう生徒第一での対応
環境が変わるといことは子どもたちにとって、とてもストレスになると思うので、子どもたちが再編が楽しみになるような、再編後は”学校生活がとても楽しい””学校に行くのが楽しみ”と思えるような取り組みをお願いしたいです。
教育委員会の姿勢
スクールバスの充実
通学時間、授業開始時間の変更を実施して遠くから通学する児童の負担を減らすようにした方が良い。
遠距離通学の児童・生徒のスクールバス。生徒数が増える事により、いじめなどを見逃しやすくなるのではない
か。
安心安全な通学方法、先生や保護者、地域の方の見守りの充実
バスの時間により、部活動や友人との時間が作れない
スクールバスの時刻
スクールバスはひんぱんに出してほしい。特に大雪の時など、通学路をきちんと除雪し、歩きやすいよう事故等が起こらないようしっかり対応してほしい
スクールバスによる送迎
スクールバスの利用、合併するにあたって友達が出来るか
スクールバスが家の近くまで来る。いじめのない学校への取組
統合する学校同士、地域がより仲良くなれる様にとりくみが必要だと思います。
スクールバスの時刻改変（絶対必要）
通学の問題
1人1人に目を配り、個を尊重し、差別のない、いじめのない学校づくり。

特にありません
スクールバスの利用方法、学童の設置
遠方登校の児童・生徒・保護者の負担軽減
遠距離通学者と近距離通学者の役割、割当差別や心理的障害の解消
・小さな学校（＝統合され廃校になる学校）の子どもの不安不満を少なくするためにもとの学校の先生もいっしょに新しい学校へ行けるようにすること ・統合した年から数年は、教員の数を増やし、細やかな対応ができるようにすること
・通学時間の不公平感 ・人が増えれば、問題も増えると思うが対応できるのか？また、親からの申し出に対応してくれるのか？
今の時代であると、いつ車が歩道に侵入してくるのか分からないので早急にスクールバスを配備すべきと思う。
スクールバスの発着場所等
家から学校までの通学時間が長くなると心配。雪の季節等
近年、全国的にスクールバスの事故が増えているように思います。特にこの地域は冬は大雪など天気の良い時期もあり、またドライバーの高齢化も進んでおり心配です。
非常勤講師をしております。この地域ではどうしても不安定な雇用の先生方が多くなってしまう事は仕方ないと思いますが、ぜひもう少し待遇面を考慮して頂ければ講師の成り手も有ると思います。 ★先生の数が決められている事は仕方ないのですが、他県では、週16h？を超える授業のある場合社会保障をつけて頂くといった様な対応がされています。この課題は、私のような講師にとっても安定も大切ですし、子供達へ色々授業を考えたり工夫したりしたくても授業時間外はすべてボランティア状態となり、モチベーションを保ちづらいのです⇒結果授業の質は上がりづらいのです。十日町、講師の多い所だと思います。良い方向で生かす為に現場の声、聞く場をもうけては頂けませんか？支援の必要な生徒の情報も共有されるスキームも無く、現場はとても困っております。
児童のコミュニケーション
南中学校に吉田中学校が吸収される時には、お互いの差別意識をなくす様にしてほしい。吉田出身者が孤立しない様にしてほしい
学区関係なく親や子が自由に行きたい学校を選択できるようになって欲しい。正直いって学区でしる意味がわからない（十日町市全体の人口、子どもの数がへっているのだからもっと柔軟な考えにして頂きたい）
スクールバスの時刻改変
スクールバスの台数を増やし、運転手を増員することで少しでも十日町市の求人数を増やし、部活の送り迎え等の親の負担を減少する。部活は十日町市全体で考えて練習、チームを作る。
児童が学校になじめるような環境づくり
スクールバスの時刻の改変、部活動の数と内容の充実、児童生徒が授業についていけるような学習支援等、通学時の安全
スクールバスを導入する場合、高齢ドライバーではなく若い人を雇用できるようにしてほしいです。（給与など）
教員、支援員の大幅増員。部活は全員強制参加ではなく、帰りたい人は帰れるようにした方が良い。バスも、帰宅部生徒用の便を出す。
通学の交通手段の確保、使わなくなった学校の再利用方法、地域の活性化（地域の人たちと子どもたちのふれあい）
少人数の学校の子たちが急に児童生徒数が増えることにより人間関係が固定化されないよう、みんなとなじめる様な対策が必要だと思う。あと、学区再編後しばらくは、授業のついていけるような学習支援も必要だと思う。
統合に伴う子どもたちのメンタルケア、通学における安全管理
通学路等の歩道整備
環境が大きく変わってしまう為、子ども達が不安にならないようトラブルが起きないように、子ども達のことを考え、よくみてほしいです。
土・日の部活動へ参加する時、遠距離に学校がある则対応が困難
スクールバスの時刻改変、部活動の数と内容の充実
スクールバスの時刻やバス停等で不便がない様にしてほしい
通学にかかる時間の差
「いじめ加害者」「不登校」などを防止する人間関係の社会化を支援するスペシャリストがいてほしい。
同地区でも距離に格差がある為なるべく同地区に学校があってほしい！学区別の地域の考えのずれがないか不安（保護者同士の親睦しづらいのではないかな？）
通いやすく、保護者に負担がないようにしていただきたい
通学時の安全性
登校時下校時の安全確保
大人・親が中心の意見が反映しており子供たちの意見をまずきいてほしい
現在でも通学に負担のかかっている条件不利地域に住む子ども達が学区再編によって通学が困難となり、学習の機会そのものが奪われたり不平等が生じてしまうこと。
地域によって子どもたちがグループ化しないような環境にすること

スクールバスにおいて、部活をしている生徒がスクールバスの時間だからといって、部活を早く切り上げなくてはならないような状況にならないようにしたい。
通学距離がなるべく短くなるような統合にしていきたいです。
・スクールバスについて ・部活動の充実
部活時（土・日・夏休み）の時もスクールバスを出してほしい
部活については市全体で同じ指導者が入って、練習できるなど各学校だけでなく、市のレベルを上げていけるようなことが大切だと思う。
・スクールバスについて、帰りの際は部活動により終わりの時間が違うこともあるので、対応してほしい。 ・部活動の数はたくさんあると選択できるのでよい。
・部活などでスクールバスを利用している子が不利にならないようにしてほしい（土・日の部活も） ・人数が増えるので子どもたちの人間関係に注意してほしい。学習支援をしっかりと
スクールバスを使うことで、歩きでふれあっていた地域の人々とのコミュニケーションや友達同士の会話が減るのではないかと心配です
生徒数が増えることに対する教員が生徒をまとめる能力
統合した地域が衰退していくことが考えられるが、それを防ぐ具体的な方策がないと地域の理解を得るのは難しいと思います。
親の送迎等の負担軽減、統合するならきちんと新設備にしてほしい
1人1人に目が届くなら1クラスの人数を調整。通学の安全確保。
地区への説明の段取りが下手くそ。こんなのでは納得するものもなくなる
スクールバスの時刻改変、部活動の数と内容の充実、児童生徒が授業についていけるような学習支援等

問10（自由意見）

小・中学校の学区適正化について、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。（記述）

校舎の広さは統合しても十分か。1学級の人数が増え、一人一人に十分な教育が行えるか。または教員人数確保できるか
R5 年度入学予定ですが、少人数クラスに入学させることに抵抗感を感じています。学区外就学も検討せざるを得ません。早急に検討していただきたいです。
地域の意見もとても大切だが、第1に子どもたちのことを考えて話をすすめていってほしい。もし、統合するのであれば遠方児童・生徒はスクールバスの利用になると思うが、近場から通う児童・生徒の通学（行き帰り）の安全もしっかり考え、整えてほしい。人通りの少ない所や横断歩道のない所など場所によって様々な為、近場・遠方に限らず対応は平等にしてほしい。一部の意見だけでは何も変わらないのだと思うと、アンケートをとっても何も意味がないと思う。とにかく、安全性も重視して十分考えて検討していただきたい。
先生も毎日とても大変かと思います。先生にとっても、働きやすい環境とすべきだと思います。
知識があまりないのでよくわかりませんが、自分が大きいマンモス校にいたので、小さい規模の学校の方が良いと思うこともあります。（友達みんななかよしなど）どちらも良いところがあると思うので、うまくやってほしいです。子供たちがすごしやすいのがいちばん！
・小学校の複式には絶対反対なので、市の示す第2次方針に大賛成です。 ・中学校の再編について、信濃川をはさんで、西側、東側で別々に再編は不可能でしょうか？冬季、橋をわたって大変だと思います。松之山学園、意味がないです。川の西側で（松之山、松代、吉田）再編は？地元の小学校、中学校には今までの〇〇小学校等、名前を残してほしいと思う方も多くいると思います。でも、教育（子どもの成長）方がもっともっと大切です。
中学など、これから統合する場合、小さな学校の子がなじみやすくなるよう、統合前から関わりを少しずつ作るなどしていじめや孤立がおきないようにしてほしい。
・母校がなくなるのはさみしいなと思います。 ・中学校の学区再編で川西中と吉田中、松代中を一緒にするという案はないのでしょうか？こちらの地域に学校がなくなってしまうのは…、どうなのでしょう？
問8と同様（※）。災害、水害（信濃川を渡れなくなると困る。迎えに行けない。） （※：旧十日町市側を中心とした考え方で学区再編しないで頂きたい。中条、下条が、川西側へ来ても良いかと思う。）
十日町でしかできない教育のあり方をぜひお願いします。十日町教育方針・プランを拝見していると、最大公約数的で当たり前のことしか書いてません。正直、長野の教育移住を検討中です。人は教育で動きますし、事実、長野への移住者が多いのは明らかに公立であっても、保育であってもそこでしかできない且つビジョンある教育、保育をされているから（しかも言語化されている）です。自然保育、森のようちえん、モンテッソーリ、イエナ、シュタイナー、など、ぜひ世界で実践されている保育、教育をもっと勉強して下さい。十日町の教育は50年遅れています。再編の先に

<p>確固たる教育ビジョンがほしいです。また学区にしばられず自由に通う学校を選ぶことができる形を希望します。街に通わせたい子どもはそっちで、山で育てたい人は山で、教育観が多様になってしまうからこそ、子も親も居住地にしばられない多様な選択ができる形がよいと思います。そうしてはじめて、地域ごとの特色ある学校としてそれぞれが磨かれてゆくのではと思います。ビジョンがあれば住民はついていきます。親自身も実際は忙しすぎて不勉強なのだから、親も目先のことを考えて答えるのだから、アンケートに意味はないと思います。</p>
<p>中学からいきなり集団となり、いじめ、不登校が心配。朝・夕の時間がきついと思う。部活の時間を考え親の負担も考えてもらいたい。</p>
<p>中学校の学区再編には基本賛成ですが、学力の偏りや通学の不利がないように平等にしてほしい。兄弟で学区が変わってしまう場合、それぞれの家族でどうするか判断させてほしい。</p>
<p>とにかく児童生徒当事者の学びや経験を第一に考えてほしい。どちらになってもメリット、デメリットはあるが、地域や当事者でない人の意見より子ども達にとって何が一番いいのかを専門家らと検討し、説明してほしい。よろしくお願いします。</p>
<p>再編によって学校が遠くなってしまう方々（子どもも保護者も）が納得できるといいと思います。</p>
<p>中学校が統合されると、通学が大変になるから、なるべく統合しない方がよいと思う。学校名が変わるのが嫌と思う児童もいると思う。</p>
<p>学級数の確保も大切だが、通学時間、距離を考慮することも大切だと思う。</p>
<p>地区の代表者や老人の意見もちろん大事かと思いますが、まずはこのアンケート結果を元に子育て世代の意見も一番に取り入れていただきたいです。</p>
<p>東に小中一貫機能を追加する。その上で、十日町が東に残るかを選ぶ。</p>
<p>川西地区の小学校は千手と上野・橘ではなく川西で一つにした方がいいのではないかと思います。</p>
<p>少子化による、統合が必要となる地域の考えが、大切かと思う。早くから地域との話合も必要でないか？</p>
<p>過疎化対策の観点からは松代地区の小・中学校を廃校にすることは悪手でしかない。十日町の人とは他人事だと思っているかもしれないが、この流れを止めないと十日町が次の過疎地域になる。</p>
<p>同じ小学校の仲間が分かれる事なく、同じ中学校に行くことが良いと考えています。</p>
<p>祖父母の実家が西小地区なので水沢小、中には入学させる気もありません</p>
<p>このアンケートの主旨が分かりません。すでに学区適正化については市民に説明したりしているはずですが。見直すということでしょうか？学校は”まちづくり”の基本です。「人口でしようがない」ではなく今後どのような十日町市をつくるのか考えて丁寧に市民に説明する必要があると考えます。（アンケート結果を後ろ盾にするのはやめて下さい。）なにはともあれ、教育委員会がもっと市民と話さなければ、うまくいくはずないと思います。</p>
<p>個人の意見として、あまり統合自体に積極的ではありません。昨今の少子化、国の制度上、しかたのないことかもしれませんが…。色々考えた結果だとは思いますが、環境が異なるので厳しいとは思いますが、兵庫県泉市のような方向で進んで欲しいと考えています。</p>
<p>生徒数が減ってきている以上、学校の数进行を少なくすることによりどんなメリットが考えられるか？（税金の使い直しの上でも）デメリット相方を全てテーブル上に出し、意見を聞くべきなのではないか思います。これから税収も減ってくるので、市民みんなで考えていかないといけないと思います。</p>
<p>下条の様な小中が同じお友達しかいない様な地域にはしてほしくない。中学校で新しい友達が出来様な環境がいいです。小学校でいじめられてた子が中学でもいじめられ登校拒否が続く様にはなってほしくありません。</p>
<p>子どもにとってどういう環境で教育を受けるのが良いのか、考えさせられました。子どもの数が減ってきているので、学区再編は仕方のないことかと思ひます。一方で、各学校が特色を出し、居住地区に限らず自ら学校を選べるという選択肢があってもいいのではないかと思ひました</p>
<p>基本的には賛成ですが、私が育った小学校はもう廃校になっています。自分が育った場所がもうないのはさみしいものですね。</p>
<p>地元の保育園に入れず、となりの地区の保育園に通っているため、友だちと同じ小学校に行けない悩みがあります。中条・下条と一緒になればよいなと思っています。</p>
<p>部活動の郡市大会など、戦う数が少ないから、そこを工夫した方がいい</p>
<p>これから小学校1年生になるのですが、学区内の一番端で中学生になると自転車通学になる地域に住んでいます。十日町は雪がとて多いので、夏はまだしも、冬はとても心配しています。そういう地域にも、バスの対応などをぜひお願いしたいです。（せめて冬だけでも。）こないだ、小学生の列にトラックがつっこむ事故などを見て、冬は車もスリッパしやすいし、ガードレールもないし、すごい心配です。統合だけではなく、子供の通学の安全面にも目を向けて頂きたいです。</p>
<p>近い学校間の統合で新校舎建設</p>
<p>中里→水沢中に通うにあたって、水沢地区の地理や土地勘に子どもが慣れていないのが不安。統合する事は基本的に賛成だが、逆に水沢の子ども達が中里地区になじみがあるか、慣れる事ができるか、水沢地区の方にも聞いてみたい。</p>
<p>親として、自分の母校がなくなる事は大変悲しい事です。しかし、少子化もあるので反対と強く言う事もできずいます。親もPTAで通う事もあるので親子ともども通いやすい様をお願いしたいです。</p>
<p>川西と中条はやはり遠すぎる、負担が大きすぎる</p>

<p>川西地域に住む者です。川西や中里から中学校がなくなってしまうことは寂しいことで、若い世代が、学校が遠い、子供が少ないなどの理由で居住しなくなります。ますます地域の衰退が進んでしまうのでは、と懸念してしまいます。旧町村に住む子育て世代への支援が必要では、と思います。子供たちの中でも、市内居住者と旧町村居住者の間で溝が生まれないよう、それぞれの地域について学ぶ取組に力を入れて頂ければと思います。</p>
<p>H34 年度に吉田、鑑島小が合併すると聞き、十日町市（妻の出身地）に移住してきた。だが、地元の意向で全く進んでいない。吉田小には学童もなく、共働き世帯、核家族の為とても困っている。（他市の方に話すと、とても驚かれた！）市としてどうなのかと。無責任だと。小規模の複式の為、子供の学力、社会性が育つのかとても不安である。十日町市教育委員会はこの状況をどう考えているのか。高齢者、移住者（市の支援員）ではなく、税金を納めている親世代（当事者）の話聞いてほしい。</p> <p>条例はいいが、当事者、その親の気持ちを考えているのか。学校がないと地域が衰退するというが、もうすでに衰退しており、「どこに住んでいても人数が確保された学校に通える」ほうが、地元に戻帰する理由になると思う。市として早期に予定通り合併を断行してほしい。私達夫婦は、市税を共に納め、地域の活動も行っているが、これでは何のメリットもない。高齢世帯に目を向けることも良いが、「生産年齢、子ども達」に目をかけることがなければ人口は減少していく一方だ。今回の資料から十日町の児童の減少率にとっても驚愕したが、自分の気持ちを考えるとこの地を離れる人、子どもを持たない人に納得できる。早期合併しなければ、夫に実家への移住を（他市へ）を考えている。アンケート結果を市報に載せて同意を得て（得なくても！）合併を早期に進めてほしい！</p>
<p>少子化で学校の廃校などはやむを得ない現実だと思いますが、やはりネガティブなイメージが付きまといますね。学校再編が地域にポジティブな要素をもたらせる様な、新しい取り組みが必要だと思います。「廃校」という言葉がポジティブな言葉に取って変わる未来が来るといいですね。</p>
<p>今後、子供が増える見込みは厳しいため、複式学級が発生する見込みとなった時点で統合すべき。はやいほうがダメージが少ない。</p>
<p>小規模校、大規模校どちらもメリット・デメリットがあり簡単に決められない問題だと思う。どちらの選択でも子ども達にとってより良い活動や学校生活が送れる様になってほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・とくに旧市町村の中学校は残してほしい。中学校がなくなるとその地域で子育てしようと思えない。若手がどんどん出ていき、地域がすたれてしまう。そんな地域にしてほしくない。子どもが大人になったときも、この地域で子育てしたいと思える地域であってほしい ・万が一、松代中をなくす場合、まつのやま学園に通えるようスクールバスを出してほしい。
<p>子供に通学時間で負担をかけるなら、学校に近いところに住みたくなる。すると学校のなくなった地域は過疎化が顕著になると思う。新規に学校を作るくらいの覚悟でやってほしい。費用対効果や予算縮小など、金の話で決めないでほしい。</p>
<p>一番やらなくてはいけないことは、何よりも児童の安心安全の確保と思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に小・中学校がなくなることによって、その地域の過疎化は避けられないと思います。再編と同時にその対策も行っていたきたいです。 ・人数が増えることによって、目がいきとどかない、また思いやりをもてないことによりいじめの問題も心配です。”みんな仲良く”も大切なことですが年齢があがれば気の合わない人との付き合い方、協力の仕方も考えていってほしいと思います。
<p>小規模校、大規模校、どちらも校務分掌の数は変わらない。そのため規模が大きくなり教員の数が増えることで教員一人一人の分掌負担が少しは軽減され、児童生徒理解や教材研究に使う時間の確保につながると考える。それが子どもにとって分かりやすい授業づくりの土台になると思う。</p>
<p>「川はまたがない」は大切だと思います。文化的にも安全面でも</p>
<p>学校統合のことばかり考えないでほしいです。子供が全くいないわけではないです。母校がなくなる…さみしいことだと思います。</p>
<p>市内の子どもの人数が減少していくのは分かっていることです。少人数のよさも十分よく分かるが、子どもも教職員も、ある程度的人数がいた方が広く多くの目で成長を見守っていけると思います。子ども達が学校に対して行き詰まってしまった時の選択肢が多い方（⇒色々な友達がいること、先生が多くいること、クラス替えができることなどです）がいいのではないかと思います、学校再編は必要だと考えています。</p>
<p>学区再編は必要なことだと思うが、せっかく改築した建物が無駄になる事、松之山だけ残る事に対してもっと説明が必要だと思う。</p>
<p>大人側の都合、満足でなく、子どもにとって良いものになってほしい</p>
<p>小学校では 35 人で 1 学級と定められていますが、十日町市内での人口が減っていくばかりなので、特例として 20 人で 1 学級とするということは不可能でしょうか？中学校の 3 年間も重要ですが、小学校は 6 年間もあるため、思春期の時期までに様々な経験をして欲しいと思っています。クラスを増やすことが無理であれば、小学校 1 年生～他校の生徒と交流する授業を毎週、毎月つくる等して、十日町全体で 1 つの小学校、中学校と考えて、授業、行事を工夫して欲しいです。十日町市は全ての小学校、中学校、高校が人数が少ないので、その中でも大都市に劣らない位に様々な経験をして、広い視野を持てるような人間になれるようになって欲しいです。</p>
<p>アンケートを回答して思った事なのですが、どれも大人の目線、大人の都合ですよね。子供の気持ちはどうでしょうか？統合することに対する不安は必ずストレスとなります。小学校から中学校へと変わる際、人数が多くなると地域差</p>

別をする子どもも少なくありません。それが、いじめに発展するケースも少なくありません。そのこともよく考えて話をすすめるべきかと思います。授業・部活など大切な事とは思いますが、子供たちの「心のケア」はより大切にしたいです。
小学校は何人以下、中学校は何人以下になったら統合するという決まりを作れば良いかと思います。
子どものことを第一に考えてほしいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着くまでの先生方も生徒も保護者も大変だと思うので、数年は教員の増員をしてほしい。 ・松之山中学校は他の学校と同じタイミングで統合した方がよいと思う。他がやっと落ち着いてきた頃、遅れてさらに統合となると、お互い大変だと思う。松之山中が23人、15人のところ、他の200～300人のところに入ると、心が大変だと思う。 ・2学級以上を維持できなくなる学校がいずれまた出てくると思うので、その時はまた統合になるのでしょうか？
当該保護者への説明と理解取得は絶対必要です。何の説明もなく、何も納得せず、年寄りの利権にまみれた行政がガタガター一人でやって、当事者である我々をかやの外で、自分達は直接関係ない人達が決定していく、本当に腐敗していると思います。松代や松之山や旧十日町以外は少しでも良いんでしょうね。デモでもストでも、やれるものならやりたいです。今の十日町が嫌いです。
特にありません
子供の豊かな「学び」と「育ち」の実現のために前進することを願います。
行政が行いやすいようにはではなく、子ども達的环境や、地域性などをよく考え、すすめていってほしいです。
水沢中と中里中の統合ですが、統合することは賛成できます。しかし、借地である、現水沢中校舎を使用するという事に納得ができません。また、十日町市の土砂災害ハザードマップにおいて、警戒・特別警戒区域になっている水沢中では、子ども達の安全が心配です。なぜ、市としても上記の区域に指定している場所を使用することになっているのでしょうか。同封されていた資料2-2（中学校）の推計表で生徒数を見ると、R9年度からは、中里中生徒の数が水沢中より多くなっています。スクールバスの運行等も考慮すると、中里中校舎の使用が望ましいのではないのでしょうか？借地料も子ども達のより良い教育の為に使用して欲しいです。そして、このアンケートの結果や意見等、市民に開示し、多くの方が納得し、安心して子ども達の教育を行っていただけるように市としての対応をお願いしたいと思います。
統合は仕方のない事だと思いますが、子供が少なくなったから、一緒にして人数を増やしても、結局、延命措置にしかならず、同じ事を繰り返すだけだと思います。子ども達が、十日町を好きになれるよう大人が考えなければいけないと思います。
もっともっと先を見て、学校統合するべき→少子化は変わらなそうなので、中学校（小学校）をもっと減らす（まとめる）中学校なら2～3校等。学区を決めず、本人や家族で学校を選択出来るようにしてほしい。学校統合は確実に子どもたちの負担になることなので、この先何年か過ぎて、また学校統合等をしなくてはならないという事のないようにしてほしい。
自分の地域に小・中学校を残してほしいという高齢の方の意見あると聞きましたが、これからの時代を生きる若い人の意見を尊重してほしいです。この先、少子化が進み子どもが減るのは確実なことです。早急の対応をお願いします。
地域住民よりも児童や生徒の意見をよく聞いてすすめていってほしい。登下校が遠距離になる場合は、事件や事故をへらすために必ずスクールバス等を運行させてほしい。
小一中に進学する際、同じ小学校なのに中学がわかれる（現の東小→中条中・十日町中のような）ことは、せっかく6年間で築いた友人関係などがはなれてしまうため、極力なくしてほしいです
未来の子供達のために適切な勉強支援と地元の学習機会を強化して欲しいと思います
遠距離になってしまう場合、一番不安になるのは安心安全で、通学が子供の勉学と保護者の勤務に支障がでないような通学方法を用意してくれるのか？ということだと思う。その点をしっかり対応し、さらにきちんと説明することが再編の理解を広く深めることにつながると思う。
A校・B校が統合しB校に通学するとA校にいた子供たちまたはA校に通うはずだった子供たちは、差別やいじめの対象になる可能性が非常に高くなるので、そういった形を少しでも無くすため統合した際は各校の先入観を無くすため教職員の異動を積極的に行う！教職員からの区別を無くし、A・B校でなく、全く新しい雰囲気、環境にして欲しいです。
少子化が進む中、学区を統合していかなくてはならないことに、一定の理解はしています。ただ”数”の論理で児童数の多い学校に、少ない学校を統合するというのでは、ほんの少数かもしれませんが、多大に不利益を被る子どもを生んでしまうことをもっと深刻にとらえて下さい。現在児童数は少なくとも学校の立地として条件の良い学校（駅が近い等）の方へ統合する等の選択肢もあり得るはずで。又児童数の問題だけでなく、どの学校も”遠くても、通うだけの価値のある”学校となるには、魅力的な教育を提供することでむしろ他県からも人が集まってくるような学校をつくるにはどうすれば良いかという様なビジョンを持って、教育の方針をつくっていただきたいです。
吉田小学校、鑑島小学校の統合については、給食配送設備があるというだけで、現在、吉田小学校に再編となる傾向になっているが、鑑島の方が生徒が多いから、どちらに統合するかは良く検討してほしい。介護施設、駐在所、保育園、公民館と鑑島に揃っている中で、小学校だけ吉田というのも検討の余地がある。また、鑑島小グラウンドは水はけが良い。吉田小にも当然、吉田小の言い分はあると思いますが、鑑島在住の立場で意見させていただきました。小中一貫校が実現不可であれば、生徒数が圧倒的に多い鑑島に統合するのを望みます。

小規模校には小規模校の良さがあると思います。学年の壁がなく、学校全体の一体感がありますし、人生では同い年と関わるよりもっと幅広い年齢層と関わるの方が圧倒的に多いので、人間力を、個性を育てるには、小規模校のほうがいいと私は思っています。
学校運営も厳しい状況にあるという現状を知るきっかけになりました。統合も致し方ない部分もあると思いますが、せっかく統合した後規模が大きくなるのであれば子供が自分で選択できる場面を増やして欲しい（部活動種類等）し、それと同時に不安を抱える子供のフォローをしっかりして欲しいと感じました。
統合も必要ですが、人口が減らないような町づくりの方が大切だと思います。「子育てなら十日町！」と言えるような政策をお願いします。
今のところはないです。
学校を減らすよりも、是非とも十日町市からは、※ピンポイントで具体的に、「人口を増やす努力」をしてほしい。（地域興し協力隊とかではなく）働ける場所が無いから市外、県外に若者が流失します。地元に残って働けるように、各地域に多種多様の企業誘致をし、働く人口を増やして欲しい。働く人が増えれば十日町の人口も増えますし、それに伴い家族もついてくる場合もあります。子供が増えれば、学校も必要です。どうか、各地の地域で子どもを育てられる（子どもが地域で育つことができる）環境を無くさないで下さい!!
未就学児だけの家庭ですが、聞いたところによると、中学校の自転車通学の可能学区？が、丁度道路をはさんで不可能な所に住んでいます。あと数メートルで可能になるのに、その線引きは変わらないのでしょうか？検討していただきたいです。
小・中学校供に学区をえらばせてほしい。
・学校が残る地域よりもなくなってしまう地域（→の声をしっかり聞いてほしい。）に対する配慮が大切（旧市町村に学校が1つもなくなってしまうのは、重大なこと） ・運営上の都合だけでなく、子どもたちのことを考えて運営の仕方を考えていってほしい。
児童・生徒数が減っている中しかたないと思いますが、できれば自分の地域、卒業した学校に通ってもらいたい思いがあります。学校が他地域にいつてしまうと地域行事等も減っていき地域がさらに衰退していくような気がします。
急いで行わず話し合いを重ねていただきたい
資料を拝見し、学区を再編することの大切が分かりました。しかし、地域が広くなることにより自分の家がある地域についての学習や地域の人々との触れ合いが希薄になるのではと考えるところもあります
問8の⑨に記入したこと（※）（※：中央に統合することだけでなく少数の学校に集まる案も検討する）
十日町中学校の規模を大きくした方がいい
人口が減少する中で財政面から学校を統合することはやむを得ないと思います。ですが、統合した地域が衰退化し、ますます人口が減少していくという悪循環につながると思います。十日町市が、子育て世代の転入を増やす取り組みが必要だと思います。
学区は今ある小中一貫校もそうだが、集まる（集める）学校の設備などを考慮してほしい。1クラス1～2人とかならなければ必要ないと思う
私自身が小規模校（小学校）の出身です。3・4年、5・6年時複式学級でした。複式学級なので担任は1人で、国語、算数の授業は半分自習。社会と理科は3年時に4年生の内容、5年時に6年生の内容の授業を受けました。（20年以上前のことなので現在は改善されているのかもしれませんが）子供ながらにナゼだろう？という疑問を感じていました。他の学校のように授業を受けたかったです。複式学級には反対です。閉校となると”地域が寂れるから”という理由で反対する地域住民（主に高齢者）がいますが、閉校、統廃合はこれからその地域の学校に通う子供たち、保護者の意見が尊重されると良いなと思います。
中・高と人数も増え、関わる人も増えてくるが、まだ人との関わり方が分からない小学生は小規模で良いのではないと思う。また、親として、学力もだが、まずは毎日学校に行く、授業を受ける、友達を作って一緒に何か協力して行うなど生活のリズム付けや他人との関わり方を学んでほしい。そして安全面から遠くの小学校よりは近場の方が安心する。他の生徒の親ともコミュニケーションがとりやすい。メリットよりもデメリットをどう解消するかをまず考えて解決策を出してほしい。そうすれば反対している方々も考えが変わってくるかもしれないと感じる。
周辺地域を置きざりにする計画だ。まあどうせ何を言っても進んでいくのでしょうか！
難しい問題で100%理解を得ての再編は困難だと思いますが、より子どもたちに良い教育環境となるよう対応していただければと思います。

問11（東小学校区の保護者限定）

特に東小学校区にお住いの保護者にお尋ねします。市では、東小学校区全域を十日町中学校区に再編する方針としていますが、この方針についてのあなたのお考えを伺います。（単一回答）

内容は別紙「調査結果（東小学校区限定）」のとおり

以上